

平成27年度 小山町立駿河小山幼稚園学校評価「自己評価書」

- 1 教育目標 「仲良く遊ぶ駿河小山っ子」
(考える子・思いやりのある子・元気に遊ぶ子)
- 2 重点目標及び具現の方策
重点目標：「あいさつのできる子」の育成
具現の方策：・明るく元気なあいさつ運動の推進
・幼児一人一人の特性や発達を捉え、主体性が育つ援助や境
境の工夫をする
・地域の人や物との触れ合いをとおして、感性豊かな心を育
む
・子ども・教師・保護者・地域との温かいかわりを大切に
し、教育効果を高めていく

3 項目別評価

評価項目	項目別 評価	評価の理由	教職員 アンケート 結果	保護者 アンケート 結果
教育課程	B		B	A
保育指導	B		B	B
保健管理	B		B	B
安全管理	B		B	B
特別支援教育	A	コーディネーターを中心 に、園内特別支援委員会や 巡回相談の準備など行い、 家庭・医療・福祉などの連 携が図れ、成果も上がった。	B	
組織運営・情報管理	B		B	A
研修	B		B	
教育目標・学校評価	B		B	B
情報提供	B		B	B
保護者・地域との連携	B		B	B
子育て支援	B		B	B
施設・設備	B		B	B

(注) 1 評価表示方法「A：十分達成されている、B：達成されている、C：

- 取り組まれているが、成果が十分ではない、D：取組が不十分である」
- 2 「教職員アンケート結果」及び「保護者アンケート結果」は、項目別評価用アンケートを集計したものである。
- 3 「項目別評価」は、「教職員による評価」及び「保護者による評価」をもとに、教職員で話しあって決定したものである。

4 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取組み方法
保育指導・研修	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日の話し合いや視点を絞った記録をまとめる時間を確保し、明日につながる保育の準備をしていきたい。 ・教師間での話し合い(カンファレンス)を充実していきたい。園内での共通理解や課題の共有をしていきたい。
保護者・地域との連携 (あいさつについて)	<ul style="list-style-type: none"> ・本園の重点目標である「あいさつのできる子の育成」にもかかわる内容であり、保護者からのA評価が低かった。保護者からは「家庭での指導も大事である」との記述があったが、園側からの働きかけも不十分であった。強化月間などを設けるなど工夫し、家庭の協力も得ながら啓発していきたい。

5 評価全体を通して（総評）

- ・教師側の評価は、全体的に個々が厳しく評価していることを感じたが、自覚と責任を持って保育をしていることとして捉え、その姿勢は大いに認めていきたい。また、教師一人一人が前回の課題を意識しながら取り組んだことで成果が上がった内容もあった。
- ・職員の経験や年齢の差もあることをプラス面としてとらえ、教師間のコミュニケーションを図り、互いが刺激し合い学び合う雰囲気大切に、子ども達の育ち第一に考えた保育を今後もしていきたい。
- ・保護者は温かく園に対してとても協力的であり、関心度が高い。保護者や地域の保育力を借りながら、子ども・保護者・園それぞれの質が向上できるよう工夫をしていきたい。